

セミナー参加報告

12月3日に長野県菅平高原にある筑波大学菅平高原実験センターで開催された第37回菅平動物学セミナーに塘研究室11名と兼子研究室2名が参加しました。以下に簡単に報告します。

セミナーは3日だけでしたが、兼子さん、大平君、佐藤浩一君は筑波大学菅平高原実験センター所属の研究者との研究打ち合わせのために1日から、残りのメンバーも3日のセミナー開始時間が早いため、2日から現地入りしました。大平君は現在執筆中（ほぼ完成）の論文の内容に関する充実した打ち合わせと、菅平の研究者による非常に「ためになる」集団遺伝学に関するレクチャーをみっちりしていただけて大満足の様子でした。2日から現地入りしたメンバーは、滞在する菅平ホテルに夜遅く到着し、早速「前夜祭」（近況報告や研究の話、人によっては昔話を車座にする会）で盛り上がりました。

3日のセミナーは全部で19題の発表がありました。毎年大所帯で参加している信州大学の研究室が所用で誰も来られなかったり（OBはしっかり参加していました）、群馬大学の先生が偉くなって研究室がなくなり、学生が参加しなくなったりで、参加者・発表者とも例年に較べるとかなり少なくなりました。学生・院生の発表はずいぶん減りましたが、それでもバラエティーに富み、初々しい始まったばかりの研究、M2の院生による集大成的な研究、若手研究者によるレベルの高い研究など、たくさん興味深く、楽しい研究発表が聴けました。

福島大学からは兼子さん（1KITEデータの使い方（その1）、EST-SSRマーカーの開発）、塘研究室の角田さん（山岳域特異的に分布する *Thrips* 属の一種のマイクロサテライト解析（アザミウマ目：アザミウマ科））の二人がマイクロサテライト解析の発表をしました。塘研究室の小林君（福島県におけるヒラタカゲロウ科幼虫の流程分布（カゲロウ目：ヒラタカゲロウ科））と佐藤棕一君（福島県裏磐梯地域の蝶類群集に影響を与える環境要因）は学外での発表デビューでしたが、発表の準備不足と自分自身の研究に関する理解不足が否めない、ちょっと残念な発表となってしまいました。これを良い経験に、次回（来年2月23日の卒業研究発表会）は頑張ってくれることを期待します。福島大学チームは院生がたくさん参加しましたが、直近に学会や研究会があり、今回は誰も発表はしませんでした（発表なしを残念がって下さる参加者もいて、ありがたかったです）。

セミナー修了後は菅平ホテルに戻って懇親会と二次会で再び盛り上がりました。私（塘）は翌日、福島までの長時間・長距離の運転があつたにもかかわらず、つつい夜更かししてしまいました。今から来年が楽しみです。



菅平ホテル入口で（塘研）



菅平ホテル入口で（兼子研+塘研遺伝子解析組）